

中国語

加藤 晴子

中国語における「(連用修飾的) 複文」について、アンケート¹⁾に従い、見ていく。

孤立型の言語である中国語では、接続形式も接続詞も用いずに動詞句を連続させて行くことで、(連用修飾的) 複文を構成するが²⁾、あわせて接続詞や副詞も使われる。

(1) 彼はいつも新聞を読みながらご飯を食べる。

他 总是 一边 看 报 一边 吃 饭。

彼 いつも ながら 読む 新聞 (ながら) 食べる ご飯

【同時動作】“一边～一边…”は、“老师一边弹琴，小朋友们一边唱。(先生はピアノを弾き、子供は歌を歌う。張 2006:92³⁾)”のように主語が異なる場合でも可能であり、“许多大学生都是一边上学，一边打工。(多くの大学生は勉強しながら、アルバイトをしている。(同上))”のように、動作の時間と場所が厳密には異なる場合でも可能である。

また、実際には継起動作であっても、同時性を強調するような場合には、“刘小芳一边挂书包，一边在摆好饭的餐桌旁坐下。(劉小芳はかばんを掛けるとすぐ、食事がすっかり並んだ食卓に座った。豊嶋 2008:68)”のように、“一边～一边…”の形式を使うことができる。

「ながら」はもう1つの形式、“～着…”でも表されうるが、両者の間には、別々の動作の同時進行か一体化した付帯状況か(三宅 2005)、対等な並列関係か副次的運動+主要な運動か(張 2006)、同時並行動作か内包動作か(豊嶋 2008)といった違いが見られるという⁴⁾。前後を入れ替えた“他总是一边吃饭一边看报。”も可。

¹⁾ アンケートへの回答は、本学博士後期課程在籍の陳婉さんにお願ひし、また、本学外国人研究員である揚州大学の孫楊さんにもご協力いただいた。ここに感謝の意を表す。ただし、本稿の内容に誤りがあれば、それは筆者の責任に帰するものである。

²⁾ 孤立型の言語である中国語では、動詞が形態変化を持たないため、動詞の終止形を文終止の記しとすることができず、例えば大河内 1997:108 が「たとえ主語が替わっても、逗号(読点“，”：引用者注)で長くずるずるつながる文が多い」と述べるように、単文と複文の境界は明確でなく、文そのものを定義することも難しい。

³⁾ 引用例の日本語訳は、引用元に拠る。

⁴⁾ 張 2006 が挙げる主語の異なる例や、“一边学习一边就忘了。(聞く端から忘れる。豊嶋 2008:58)”，またこの後の(5)のように、“一边～一边…” “～着…” が常に「ながら」に対応するのでないことは、言うまでもない。

(2) (私は) 昨日は 10 時に家に帰って、少しテレビを見て (から)、寝ました。

我 昨天 晚上 10 点 回 到 家，看 了 一 会 儿 电 视，就 上 床 睡 觉 了。

私 昨 日 夜 10 时 归 来 家 看 电 视 (完了) しばらく テレビ (接続) 就 上 床 寝 る (実現)⁵

【継起的動作・物語的連鎖】完了を表す“了”が、1つめの節にはなく、2つめの節では動詞の直後、目的語の前に現れ、3つめの節に接続の働きを持つ副詞“就”⁶が置かれていることが、3つの事態に繋がりを付けていると考えられる。一方で、テレビを見る時間が長く寝るのが遅かったと意識される場合は、“就”に替えて“才”を使う。

“就”を含む前件と“了”を含む後件とを入れ替えることはできない。“*就上床睡觉了，看了一会儿电视。”は容認されがたい⁷。この後の(18)(22)(23)も同様である⁸。また、前件に“了”を含まず、替りに“[一]”や“[要是]”を含む(11)(12)(13)，(15)(16)(20)(25)も同様である。

(3) (私は) 昨日階段で転んで、ケガをしてしまった。

我 昨天 在 楼梯上 摔 了 一 交，受 伤 了。

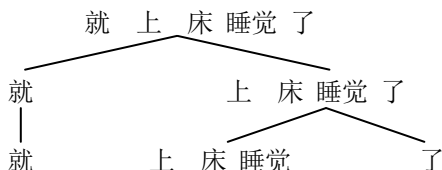
私 昨 日 在 楼 梯 上 转 倒 (完了) 1 回⁹ 负 伤 的 (実現)

⁵ 中国語文法では“了”を、動詞に直接後接する“了1”と、文末(または節末)につく“了2”とに分け、動詞に後接する“了1”を動作の〈完了〉を表すもの、文末の“了2”を、ある事態が〈実現〉する、新たな状態に〈変化〉する、という意味を表すものとする。

⁶ 中国語では、接続詞以外に、“就，才，也，再”など一部の副詞も文接続の働きを担う。

⁷ 家に帰ってから何をしたらか詮索する質問に対して答えるような場合には、成立する可能性がある、とのコメントがあった。ただし、この時の“就”は「ただそうしただけ」という意味を表し、接続の働きはないものと考えられる。

⁸ (2)の3つめの節や(20)(25)などに、一見“…就…了”であるように見える箇所が散見されるが、いずれも1つの節内に両者が含まれたものである。“…了…就”の“了”が“了1”であるのとは異なり、“…就…了”の“了”は“了2”で、以下に示すように、“就”とは異なる階層にある。



⁹ もともとは“摔跤”で「転ぶ」という意味の動詞だが、後半部分を助数詞的に使ったものである。

【継起：理由】(2)【継起的動作・物語的連鎖】と同じく前件の動詞の直後に“了”が現れるが、後件に“就”はない。「転ぶ」と「ケガをする」の関連性の強さによるのだろうか。後件に“就”を含んではいないが、前後を入れ替えた“*我昨天受伤了，在楼梯上摔了一交。”は容認されがたい¹⁰。この後の(17)(19)も同様である。

(4) 今日も父は会社に行つて、兄は大学に行つた。

今天 也 和 往常 一样，我 爸爸 去 公司，我 哥哥 去 大学。

今日 も と 通常 同 じ 私 父 行 去 会 社 私 兄 行 去 大 学

【異主語】中国語の動詞句連続は、異主語であっても構わない。前後を入れ替えた“今天也和往常一样，我哥哥去大学，我爸爸去公司。”も可。

(5) (あの人は) 今日帽子をかぶつて歩いていた。

那个人 今天 戴 着 帽子 走 在 路上。

あ の 人 今日 かぶる 〈持続〉 帽子 歩 く で 道 路 上

【付帯状況】(1)【同時動作】でも示した“～着…”の形式で表す。“着”は、動作や状態の持続を表す。また、“走在路上”の“在”は、動作の行われる場所を示すと同時に動作の進行も表す。前後を入れ替えた“*那个人今天走在路上戴着帽子。”は容認されない。

(6) 私は休みの日はいつも音楽を聴いたり、テレビを見たりしています。¹¹

休息日 我 总是 听听 音乐、看看 电视 什么的。¹²

休 日 私 一 常 也 聽 音 樂 看 電 視 等

【並行動作】“什么的”は、「そのたぐいのもの」といった意味を表し、名詞句連続の後にも動詞句連続の後にも使うことができる。中国語では、動詞を繰り返した、いわゆる「重ね型」にすると、動作量が少量であるというニュアンスを持ち、そこから、気軽さを表すようになる。重ね型を列挙すると、それらの動作を気楽なつもりで少しずつ行うというニ

¹⁰ “因为(なぜならば)”を加え“我昨天受伤了，因为在楼梯上摔了一交。”とすれば理由を述べるものとして容認され得る、とのコメントがあった。(7)(8)もそうだが【理由】を述べる複文は前後の入れ替えの容認度が比較的高いようである。ただその場合、【理由】を表す接続詞は省略しにくくなる。

¹¹ (6)はもとのアンケートでは「(私は) 休みの日はいつも本を読んだり、テレビを見たりしています。」であったが、たまたま同じ動詞になってしまうので、改変した。

¹² 中国語で“、(顿号)”は“，(逗号)”とは区別され、並列を表す。

ュアンスになる。前後を入れ替えた“休息日我总是看看电视、听听音乐什么的。”も可。

(7) 時間がないから、急いで行こう。

没 时间 了， 快 走。

ない 時間 〈変化〉 急いで 行く

【理由・カラ】接続の働きをする要素は特になく、「時間がなくなった」と「急いで行く」
とが並べて表されるのみである。前件末尾の“了”は〈変化〉を表し、「時間がないという
ことになった」という意味になる。

(8) 昨日は頭が痛かったので、いつもより早く寝ました。

昨天 头 疼， 比 平时 睡 得 早。

昨日 頭 痛い より 平常 寝る 〈程度導入〉 早い

【理由・ノデ】同じく接続の働きをする要素は見当たらない。動詞に後接する“得”は、
動作の状況や程度を表す「様態補語」を導く。「寝るのが早い」という表現である。

(7)(8)では、前件と後件の入れ替えが容認される。【理由】を述べる複文は前後の入れ替
えの容認度が比較的高いようである。ただし入れ替えた場合、(7)は“因为(なぜならば)”
などの接続詞を排除するのに対し、(8)は、前後の関係が明確になるよう、“因为(なぜなら
ば)”などの接続詞を加え、“昨天比平时睡得早，因为头疼”などとするほうがよい。

(9) あの人は本を買いに行った。

i 那个人 去 买 书 了。

あの人 行く 買う 本 〈実現〉

ii 那个人 买 书 去 了。

あの人 買う 本 行く 〈実現〉

【趨向／移動の目的】これまで見てきた動詞句連続と特に異なるところはない。前後を
入れ替えた i と ii のいずれも可能である。

i と ii の違いは、i が「あの人はどこへ行ったのか」という問いに対する答えであり、
ii は「あの人はいるか」という問いに対する答えである点である。「どこへ」に対しては「本
を買いに」を示し、「いるかないか」に対しては「(どこかへ)行った」を示すところから、
よりフォーカスされる情報をより文末に近い位置に置くことで、情報構造に沿う配列にな
っていると考えられる。

(10) (彼は) 外が良く見えるように窓を開けた。

他 为了 能 看见 外面, 把 窗户 打开 了。
彼 のため できる 見える 外 を 窓 開く 〈実現〉

【目的・意図】目的を導く前置詞“为了”を使って表す。【目的・意図】を述べる複文も前後の入れ替えの容認度が比較的高いと考えられる。前後を入れ替えた“他把窗户打开了, 为了能看见外面。”も可。

(11) ここでは夏になると, よく雨が降ります。

我们 这里 [一]¹³ 到 夏天 就 常常 下 雨。
私たち ここ [ひとたび] なる 夏 〈接続〉 しばしば 降る 雨

【恒常的条件】“一”と“就”の組み合わせが接続の働きを担う。日本語のト・バ・タラ・ナラの使い分けは, 中国人学習者にとっての難点の1つである。

(12) 窓を開けると, 冷たい風が入って来た。

窗户 一 开, 冷 风 就 进 来 了。
窓 ひとたび 開ける 冷たい 風 〈接続〉 入る 来る 〈実現〉

【確定条件・生起】(11)【恒常的条件】と同様, “一”と“就”の組み合わせが接続の働きを担う。また文末の“了”は, 前件の結果こうなったという〈変化〉の意味も含む。

(13) 坂を上ると, 海が見えた。

[一] 上 了 坡 就 看见 大海 了。
[ひとたび] 上る 〈完了〉 坂 〈接続〉 見える 海 〈実現〉

【確定条件・発見】(12)【確定条件・生起】と同様, “一”と“就”の組み合わせが接続の働きを担う。また文末の“了”は, 前件の結果こうなったという〈変化〉の意味も含む。

(14) 明日雨が降ったら, 私はそこに行かない。

[如果] 明天 下 雨, 我 就 不 去 那儿。
[もしも] 明日 降る 雨 私 〈接続〉 〈否定〉 行く そこ

¹³ アンケート回答文中の[]は, その語句が必須でないことを表す。

【仮定条件】中国語の仮定条件文では，“如果，要是”などの接続詞が使われるが，必須ではなく，むしろ，【継起的動作】【恒常的条件】【確定条件】などにも使われる“就”が重要である．前後の入れ替えは，このままでは不可であるが，“我就不去那儿了，如果明天下雨的话。”のように，“了”や“如果～的话”を顕在化させることで容認度が上がる．

(15) もっと早く起きればよかったなあ．

[要是] 再 早 起 一会儿 就 好 了。

[もしも] もっと 早い 起きる しばらく (接続) よい (変化)

【反実仮想】文字通りでは「もしももう少し早く起きるとよいことになったのに」という表現である．“[要是]”と“就”で接続される．

(16) あんなところに行かなければよかった．

那种 地方, 早 知道 就 不 去 了。

あのような 場所 早くに 知る (接続) (否定) 行く (変化)

【反実仮想・前件否定】文字通りでは「あんなところは，早くに知っていたら行かないことにしたのに」という表現である．やはり“就”が接続の働きをしている．

(17) 1に1を足せば，2になる．

i 1 加 1 等于 2。

加える に等しい

ii 一个 1 再 加上 一个 1 就 等于 2。

1つ さらに 加える 1つ (接続) に等しい

【一般的真理】iは，数学の式で「1足す1は2」というような場合，iiは，何かの説明のための喩えとして述べるような場合の表現である．やはり“就”が接続として働いており，条件形式が使われている．

(18) 駅に着いたら電話をしてください．

到 了 车站 就 给 我 打 电话。

着く (完了) 駅 (接続) に 私 かける 電話

【仮定条件+働きかけのモダリティ】後件に働きかけのモダリティが現れる文であっても，中国語ではやはり“了”と“就”の組み合わせが使われる．

(19) 日曜日になったら、みんなで公園に行きたいなあ。

到 了 星期 天，真 想 和 大家 一 起 去 公 园 啊。

なる〈完了〉日曜日 本 当 に し た い と 皆 一 緒 行 く 公 园 〈感嘆〉

【仮定条件+願望】後件に願望のモダリティ要素のある条件文では、これまでと異なり，“就”は現れない。“就”は、前件があれば「すかさず」「もれなく」後件があるという意味を持つため、実現が未確定の願望には使えないものと考えられる。また、「日曜日になったら、みんなで公園に行く」ことを「したい」のであり，“想(したい)”は厳密には文全体にかかるよう、文頭に置かれる筈であるが、ここに示した配列が優勢なようである。

(20) 明日雨が降ったら困るなあ。

明天 [要是] 下 雨 就 麻 烦 了。

明日 [もしも] 降る 雨 〈接続〉 面倒 〈変化〉

【心配】一般的な仮定条件文と同じく，“要是”と“就”の組み合わせで接続を示す。

(21) 家に来るなら、電話をしてから来てください。

i 要 来 我 家 [的 时 候]，来 之 前 给 我 打 一 个 电 话。

〈意志〉 来る 私家 [の 時] 来るの前 に私 かける 1つ 電話

ii 要 来 我 家 [的 时 候]，给 我 打 一 个 电 话 再 来。

〈意志〉 来る 私家 [の 時] に私 かける 1つ 電話 それから 来る

【時間的前後関係に則していないナラ条件文】この場合には、中国語では“的时候(の時)”を使うが、必須ではない。i と ii の違いは、i が「無駄足にならないように家で待っているよう、または、もてなしのために前もって準備しておけるように」という含みがあるのに対し、ii は「急に来られては困る」という含みがある。いずれの場合も、前後の入れ替えは難しいが、“?来之前给我打个电话，/?给我打个电话再来，要来我家的时候。”のように“的时候”を顕在化させれば容認度がやや上がるようである。

(22) [もうすぐベルが鳴るので] 鳴ったら、教えてください。

铃 响 了 就 告 诉 我。

ベル 鳴る 〈完了〉 〈接続〉 告げる 私

【予想を伴った条件文】“了”と“就”とでつなぐ。

(23) [もしかしたらベルが鳴るかもしれないので] もし鳴ったら、教えてください。

[要是] 响 铃 了, 就 告诉 我。

[もしも] 鳴る ベル 〈実現〉 〈接続〉 告げる 私

【予想を伴わない条件文】前件の“了”は“了2”であるが、(22)【予想を伴った条件文】と同じく“就”とでつなぐ。(22)との違いは、(22)では、特定のベルに、鳴るという事態が発生するということを言うために“铃”が主題として文頭に置かれるのに対し、(23)では、ベルが鳴るという事態全体が発生する可能性があることを言うために“铃”が動詞の後に目的語として置かれる点である。

(24) 働かざるもの食うべからず。／働かない者は、食べるべきではない。

不 劳动 者 不 得 食。

〈否定〉 働く 者 〈否定〉 得ない 食べる

【**相関構文**】“不劳动者不得食。”は慣用句として定着しており、他の形式を想起してもらうのは無理であった。“谁先来, 谁买票(先に来た者から(先着順に)入場券を買う。小学館『中日辞典』第2版“谁”項)”のような形式は、中国語で広く使われる。

(25) もう少しお金があったらなあ。

i [要是] 再 多 点 钱 就 好 了。

[もしも] さらに 多い 少し 金 〈接続〉 よい 〈変化〉

ii 钱 [要是] 再 多 点 就 好 了。

金 [もしも] さらに 多い 少し 〈接続〉 よい 〈変化〉

【**言いさし・願望**】中国語は、このような言いさしを実現することはできず¹⁴，“[要是]”と“就”を使って(15)【**反実仮想**】と同じ形式になる。iとiiの違いは、iが「特に目標金額はなく、もっと金持ちなら」という場合に発されるのに対し、iiが「目標金額を意識して、それに足りない」という場合に発される点にある。これも情報構造に沿う配列になっていると考えられる。

¹⁴ “要是再多点钱就……”は、言いかけてやめたことになる。

(26) これも食べたら？

把这个也吃了呗。
 を これ も 食べる〈完了〉〈語気〉

【言いさし・提案】言いさしでも(26)【提案】や(27)【つき放し】の場合は“就好了(～たらいい)”の部分がなく、言いさしと言ってよい表現になっている。この場合、語気助詞と呼ばれる“呗”が重要な働きをしており、「～すればよい」「～してかまわない」「～してもしかたがない」といった気持ちを表す。

(27) やりたいなら(自分の)好きなようにやれば？

[如果] 你想做的话,想怎么做就怎么做呗。
 [もしも] あなた したい やる〈接続〉したい どのように する〈接続〉どのように する〈語気〉

【言いさし・つき放し】“的话”は仮定を表す助詞である。後件がさらに前後に分かれるために、ここでは省略しにくいようである。後件は「どのようにやりたいかによってどのようにやる」という表現である。前後を入れ替えた場合は、“想怎么做就怎么做,如果你想做的话。”のように、“如果”が必須となる。

(28) このコップは落としても割れない。

- i 这个杯子掉在地上也不会碎。
 この コップ 落とすに 床 も〈否定〉〈可能性〉 碎ける
- ii 这个杯子,把它摔到地上也摔不碎。
 この コップ を それ ぶつける まで 床 も ぶつける〈否定〉 碎ける

【仮定的な逆接】2つの事態をつなげる働きをしているのは、副詞の“也”である。iとiiの違いは、iが「不注意で起こった場合を想定して述べる」のに対し、iiは「故意に起こすことを想定して述べる」点にある。“摔不碎”は、動作“摔”と結果“碎”の間に“不”を挟んだ、「可能補語」の否定形で、「砕こうと思ってぶつけても砕くことができない」という表現である。

(29) このリンゴは高かったのに、ちっとも甘くない。

这苹果很贵,可是一点也不甜。
 このリンゴとても 高い しかし 少しも〈否定〉 甘い

【アクチュアルな逆接】接続詞“可是”が現れており、かつ省略しにくい。

(30) 彼の家に行ってみたけれども、彼はいなかった。

我去他家找他了，他没在。

私行く彼家訪ねる彼〈実現〉彼〈否定〉いる

【逆接3】(29)【アクチュアルな逆接】と異なり、接続の働きをする要素が見出せない。「私は彼の家を訪ねた」ということと、「彼はいなかった」ということが、並べられているのみである。(29)のような場合、一般に「値段が高ければ甘い筈だ」との前提があるのに対し、(30)では、「私が訪ねて行けば必ず彼は家にいる筈だ」との前提は一般的には成り立たないため、単に「私が訪ねて行ってみたら、(その時たまたま)彼は家にいなかった」と述べることになることから、両者の違いが生まれるものと考えられる。(28)(29)(30)とも、前後の入れ替えは容認されない。

(31) あの人に来るまで、私はここで待っています。

我在这儿等到那个人来。

私でここ待つまであの人来る

【時間的期限[1]】動詞に後接した“到～”が「～するまで」の意味を表す。

(32) あの人に来るまでに、食事を作っておきますよ。

那个人来之前，把饭菜做好。

あの人来るの前にを食事作る〈完成〉

【時間的期限[2]】動詞に後接した“～之前”が「～するまでに」の意味を表す。

「あの人に来る」時が、最も早い期限である(「あの人」が来るまでは待ち続ける)(31)では、補部を後ろに取る“到～”が使われ、最も遅い期限である(「あの人」が来るずっと前に作り終えてもよい)(32)では、補部を前に取る“～之前”が使われる。

前件後件の入れ替えに関し、(31)の前後を入れ替えたものは、“我”を削除し末尾に〈持続〉を表す“着”を加え、“到那个人来，在这儿等着。”とすれば、(32)の前後を入れ替えた“把饭菜做好，那个人来之前。”とともに、「～，待つように。」「～，食事を作っておくように。」と指示するような場面で容認され得る、とのコメントがあった。

以上見てきたところでは、総じて、できごととできごとがほぼ対等である場合((1)(4)(6)など)を除いて、できごと間の関係を示すマーカ―があってもなくても、前後の入れ替えは困難である。【理由】【目的・意図】を表すもののように、入れ替えが比較的容認されるも

のでも、入れ替えにあたってマーカーが必須となるものもある((8)(14)(21)(27)など)。統語構造を示す形式的指標に乏しい中国語では、時間軸や論理の展開の方向に沿う順序で述べる傾向が強いことの現れであろう。

参考文献

- 井上優.2003.「文接続の比較対照——日本語と中国語」,『言語』32(3), pp.54-59.
- 王崗.2003.「時を表す複文構造に関する日本語と中国語の対照研究—「たら・とき・てから」と「时候・以后」」,『日中言語対照研究論集』5, pp.137-146.
- 大河内康憲.1997.「主語の支配する文群」,『中国語の諸相』白帝社, pp.107-114.
- 張岩紅.2006.「“V₁着 V₂”と“一边 V₁ 一边 V₂”との関係について」,『日中言語対照研究論集』8, pp.90-107.
- 豊嶋裕子.2008.「“一边 A 一边 B”と「P ながら Q」についての一考察」『日中言語対照研究論集』10, pp.57-73.
- 中川裕志.1997.「複文における因果性と視点」,田窪行則編『視点と言語行動』くろしお出版, pp.77-117.
- 三宅登之.2005.「“一边 V1, 一边 V2”と“V1 着 V2”の関係について」,『大東文化大学語学教育研究所創立 20 周年記念現代中国語文法研究論集』, pp.121-143.
- 李光赫.2011.「ト形式の時間的限定性における日中対照—中国語の“(一)P, 就 Q”との対照を中心に—」『日中言語対照研究論集』13, pp.89-100.